



人口の増加のルーツ

約450万年前～人類誕生
古代～中世～目立った変化なし
しかし1650年までに少しずつ増え始めて、5億人ほどになる。
18世紀から人口増加が始まり10億人に。
19世紀前半には20億人近くになる。

平均寿命		
1位 日本	モナコ サンマリノ	82歳
スウェーデン		81歳
ジンバブエ		36歳
日本人の平均寿命		
男性	～	79歳
女性	～	86歳

日本
人口 1億2740万人
・毎日2990人ほど生まれて3130人ほどなくなっている。
・赤ちゃんが少しか産まれず、2007年から人口減少と推測。
～しかし実際は5年前半から人口減少が始まっている。

1950年から急激な人口増加が始まる
↓
1960年から2000年までの40年間で人口が2倍になる。
↓
60億人に！

1900年代から石油が使われ始める。

途上国の人口増加が著しく、アジア、アフリカだけで世界の74%を占めるといわれている。

2050年には人口は90億人に！
ちなみに現在は68億7900万人くらい

世界の人口
1分間に152人、一日に22万人、1年で8千万人増えている。

15世紀まで人口は2～4億人と一定を保っていた。地球上のほかの生物と共存できていたのではないかと言われている。
しかし
産業革命や経済の発展
↓
人口増加の基盤が作られる。

まとめ
20世紀あたりの人口の急増は長い歴史からみても異常。

自然環境の保全、資源、エネルギー問題、食糧問題などの世界で取り組まなければならない緊急の課題が多くある。



世界人口 多い国

1位 中国	13億人
2位 インド	11億9千万人
3位 アメリカ	約3億人

世界人口の少ない国

ツバル 0.9万人

参考文献
<http://www.arkot.com/jinkou/jinkousuikai.gif>
<http://www.arkot.com/jinkou/>